

朝日庄内プロジェクト 庄内海岸林の保全活動

山形県「森の感謝祭」で森林ボランティアを指導

平成20年6月7日(土)遊佐町の森の公園「遊ぼっと」において、『県民みんなで支える新たな森づくり』をテーマに「やまがた森の感謝祭2008」が開催されました。

当日は、山形県内から約800人が来場して、木工クラフトやパネル展示コーナーが家族連れで賑わいました。

朝日庄内森林環境保全ふれあいセンターも開会式典に職員全員が参加するとともに、式典後に開催された「森づくり活動」で、森林ボランティアの指導を行いました。

約600人が参加して、会場西側に設定されたクロマツ林の整備を10班体制で実施するもので、当センターでは一般参加者、鶴岡緑の少年団、山形大学農学部、県緑化事業組合連合会等約50名を指導してクロマツ林整備を実施しました。

整備箇所にはツタウルシやニセアカシヤ等が繁茂しており、細心の注意を払って森林整備を指導しましたが、事前に準備した「かぎ爪」が大好評を得ました。

樹木の又木を活用して制作した「かぎ爪」は、直接、ウルシやトゲのあるニセアカシヤに触れずに伐倒木を集積場所まで引き出すことが出来ることから、緑の少年団や大学生に人気があり、大半が作業終了後に参加記念として持ち帰りました。

約1時間の作業で、クロマツ林内はすっかり明るくなり根元に日光が差す状況となり、参加者も自分たちの森林整備の成果に満足していました。

なお、当センターの指導状況は、山形県の農林水産部の広報誌「森林やまがた」の写真の一部にも掲載されています。

